

「日本自然保護大賞 2024」授賞セレモニー開催！

日本一の自然保護、生物多様性保全活動を選ぶ「日本自然保護大賞 2024」の選考委員特別賞を受賞した「山のトイレを考える会」（北海道札幌市）の授賞セレモニーを開催いたします。

- 日時：2025年1月19日(日) 14:00～15:30
- 場所：札幌エルプラザ 2F 環境研修室 1（札幌市北区北8西3）
- 出席選考委員：
土屋俊幸（選考委員長、公益財団法人日本自然保護協会理事長）
神谷有二（選考委員、(株)山と溪谷社自然図書出版部部长）
- 次第(予定)

1. 自然保護大賞について	日本自然保護協会事務局
2. 講評	選考委員
3. 賞状・盾の授与	選考委員
4. 活動の紹介	山のトイレを考える会のみなさん



土屋選考委員長



神谷選考委員

【選考委員特別賞】

山のトイレを考える会

受賞テーマ：大雪山国立公園の山岳トイレ問題解決に向けた取り組み

（講評）登山の途中で立ち寄ったトイレの状態に不快な思いをした方は多いでしょう。また、登山者の少ない山域では、そもそもトイレが存在せず、環境保全上、景観上、深刻な問題を引きおこしている事例があります。最善の解決策として、携帯トイレの携行・使用があるのですが、その普及には様々な課題があるのも事実です。当会は、そうした中で、トイレ問題について「考える」活動だけでなく、現地での実践活動、啓発活動を、地道に、しかし着実に、長年取り組んできました。地域に拠点を置いた官民協働活動を高く評価すると共に、今後の活動の継続を強く望みます。



自然保護大賞について

2014年、自然保護憲章制定40周年の年に設立されました。地域性、継続性、先進性、協働性の観点から、優れた自然保護活動・生物多様性保全活動を表彰しています。素晴らしい活動を多くの方に知っていただくことで、SDGsやネイチャーポジティブの実現に向けた自然保護を推進する力にします。協賛：経団連自然保護協議会、後援：環境省、国際自然保護連合日本委員会、自然保護憲章普及委員会



公益財団法人日本自然保護協会について

自然保護と生物多様性保全を目的に、1951年創立の日本で最も歴史のある自然保護団体のひとつ。ダム計画が進められていた尾瀬の自然保護を皮切りに、屋久島や小笠原、白神山地などでも活動を続けて世界自然遺産登録の礎を築き、自然を守る活動を全国の会員と共に続けています。「自然のちからで、明日をひらく。」というメッセージを掲げ、人と自然がともに生き、笑顔で生活できる社会を目指すNGOです。



■ 本リリースに関するお問合せ

日本自然保護協会 日本自然保護大賞担当：志村、岩橋、渡邊

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトヨビル 2F Tel:03-3553-4101 Email: award@nacsj.or.jp